



「インスピレーションになろう」 BE THE INSPIRATION

2018-19年度 RI会長／バリー・ラシン RI.D2590ガバナー／金子 大 横浜旭RC会長／市川 慎二

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(㈱岡田屋 3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



被災地の子ども達にクリスマスプレゼント



チャリティーコンサート



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年8月8日 第2347回例会 VOL. 50 No. 6 ガバナー公式訪問

■司 会 SAA 後藤 英則

■開会点鐘 会長 市川 慎二

■斉 唱 我等の生業

■出席報告

会員数	31名	本日の出席数	26名
本日の出席率	96.30%	修正出席率	96.15%

■本日の欠席者

福村

■他クラブ出席者

市川、滝澤（地区）、大川（磯子 RC）

増田、斎藤、市川（横浜瀬谷 RC）、

宋（横浜西 RC）

■ビジター

金子 大様（地区ガバナー、横浜中 RC）

千田 晴久様（地区幹事、横浜中 RC）

吉田裕一郎様（地区副幹事、横浜中 RC）

窪倉 保様（横浜中 RC）

■会長報告

皆様、こんにちは。金子ガバナーをはじめ、地区幹事千田様、地区副幹事吉田様、窪倉様、本日は大変お忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。どうぞご指導、宜しくお願ひ致します。

さて、連日猛暑が続いていたと思えば、これから台風が直撃の恐れありと不安な気象が続きます。皆様、体調やお出かけになれる時にはくれぐれもご注意くださいませ。

先週の金曜日は、横浜瀬谷 RC に表敬訪問に

行ってまいりました。久しぶりに会えた方も多く嬉しかったとともに、当クラブとは違う雰囲気を楽しんでまいりました。当クラブの皆様には、くれぐれも宜しくお伝えくださいますことでした。

また、メーキャップに行かれたことのない新会員の方は、初めてのメーキャップに心細いところがあると思います。日程があれば、私も一緒に喜んで伺いますのでお声かけください。

さて、本日はガバナー公式訪問です。金子大ガバナーより地区方針などをご指導いただき、当クラブの活動に取り入れながら地区目標達成に向けて会員一丸となって活動していきたいと思ひます。

その中でも、拡大、増強は大きな課題の根幹にあり、達成しなければならない取り組みです。ご存じのように、今月は「会員増強拡大月間」です。今年度の当クラブの増強目標は、純増4名としております。

先週の増強フォーラムを参考に、今月中に必ず入会候補者を見つけ、9月26日に行われる体験例会にもお招きし、入会に繋げたいと思ひております。増強するには、会員全員が理論ではなく、実践しなくてはなりません。友人や新しい職業、女性、若い世代、元ロータリアンやその御子息、今まで断られた方も含めてもう一度、声をかけていきましょう。

本日より、出席表の所に、増強リストを置

いておきました。ぜひお手持ちの携帯電話、電話帳の名前一覧を全部見ていただき、会員増強リストに、少しの可能性でも構いませんのでご記入ください。また、候補者の名前をご確認いただき、知り合いがいれば紹介者と一緒に協力してお誘いしましょう。

当クラブも高齢化、会員減少、退会者などにより、会費の値上げや当クラブ存続の危機に陥らないよう、皆様のお力で会員を増強し、あらゆる意味で当クラブの活性化に繋げていけるようご協力をお願い致します。

○地区関係

1) 横浜田園 RC より、40 周年記念誌を頂きましたので回覧いたします。当クラブの 50 周年も間近に迫っており、参考になる所も多いと思いますので、ご覧くださいませ。

2) 西日本豪雨被災地支援の義援金を当クラブより、41,000 円、地区へ送金致しました。

皆様、ご協力いただき、ありがとうございました。

○クラブ関係です。

1) 本日、例会終了後に臨時理事会を開催致します。

地区大会のガバナー補佐プログラム仮テーマですが「クラブ活性化への挑戦」への企画書の提出について、ガバナー補佐より説明がございます。

■米山委員会 青木 邦弘

今 2 回目の米山寄付をお願い致します。2,000 円以上、受付致します。

■青少年奉仕委員長会議報告 滝澤 亮

日時 8月3日(金)

場所 ソシア 21

出席してまいりました。

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

金子 大様(横浜中 RC) / 本年度ガバナーを拝命いたしました横浜中ロータリークラブの金子大(かねこゆたか)でございます。貴クラブの皆様の指導とご協力をいただきながら、クラブの可能性を拡げていくために努力する所存です。どうぞよろしくお願い致します。

千田晴久様(横浜中 RC) / 本日は金子大ガバナーのお供で伺いました。地区幹事と致しましてガバナーをお支えし、RI のテーマ、ガバナーの地区方針にのっとり、地区の運営を図ってまいります。一年間よろしくお願い致します。

吉田裕一郎様(横浜中 RC) / こんにちは。今日は金子ガバナーのお供で伺いました。貴クラブの新川さん、ガバナー補佐の増田さんには大変お世話になっております。有難うございます。貴クラブは地元の成長発展にご尽力しているイメージがあります。頑張ってください。今日はよろしくお願い致します。

窪倉 保様(横浜中 RC) / 本日は金子大ガバナーの随行でお伺いいたしました。宜しくお願い致します。

市川 慎二 / 本日は、金子大ガバナーをはじめ地区幹事千田様、地区副幹事吉田様、窪倉様、大変お忙しい中ご足労いただき、有難うございます。金子ガバナーの卓話を直接拝聴できますこと、心より感謝いたします。

安藤 公一 / 金子ガバナー、千田地区幹事、吉田副幹事、窪倉様、ようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願い致します。

増田嘉一郎 / ガバナーの公式訪問に同行しました。本日は宜しく申し上げます。

滝澤 亮 / 金子大ガバナー、本日はご苦労様です。千田地区幹事、吉田知久副幹事、窪倉様ようこそ。

田川 富男 / 金子大ガバナー、お足元の悪い中ご訪問頂きまして有難うございます。ご指導宜しくお願い申し上げます。

吉原 則光 / 金子ガバナー様、悪天候のところ、お越しいただき有り難うございます。ご指導の程宜しくお願い致します。

二宮 登 / 金子ガバナーをお迎えして。

関口 友宏 / 金子ガバナー御一行様をお迎えして。

佐藤 利明 / 金子大ガバナー公式訪問ご苦労様です。よろしくご指導お願い申し上げます。増田ガバナー補佐、並びに横浜中 RC 窪倉様、ご苦労様です。

岡田 清七 / 金子ガバナーようこそ。

青木 邦弘 / 金子ガバナー、今日のご苦労様です。

齋藤 善孝 / 金子ガバナーようこそ。

後藤 英則 / 金子ガバナーようこそ!

五十嵐 正 / 金子ガバナーをお迎えして。本日はよろしく申し上げます。

大川 伸一 / 金子ガバナー様、荒天の中お越しいただきましてありがとうございます。

太田 勝典 / 金子ガバナーようこそ。

柳沢 哲也 / 今週位から、皆さん、夏休みか

と思います。私は少年野球関係の夏合宿で山中湖へ行ってまいります。

新川 尚／金子ガバナー、ご指導よろしくお願ひします。

佐藤 真吾／金子ガバナーをお迎へして。地区より千田様、吉田様、窪倉様ようこそ。

二宮麻理子／本日は金子ガバナーようこそいらっしやいました。

須藤 亘／本日は悪天候の中、金子ガバナー、横浜中 RC の皆様ようこそおいで下さいました。宜しくお願ひ致します。

北澤 正浩／金子大ガバナー、地区幹事千田様、地区副幹事吉田様、窪倉様、ようこそいらっしやいました。

■ガバナー公式訪問

○ガバナー紹介 増田嘉一郎

1) 経歴 1946 年昭和 21 年 8/1 生まれ 72 歳
学校法人横浜学院理事長、学院長
(24 歳で経営にかかわるようになり用務員からスタート)

2) ロータリー歴

1985 年 12 月 横浜西 RC 入会

1989 年 6 月 クラブ退会

2000 年 11 月 横浜中 RC 入会

職業分類 教育(学校)

2009-10 年度横浜中 RC 会長

(横浜中 RC 出身の野坂定ガバナー年度、多くの会員を地区へ送り出すと同時に手薄になったクラブの会員をまとめあげ、例年と遜色ないクラブ運営を行った)

2016-17 第 6 グループガバナー補佐

2018-19 ガバナー

R 財団メジャードナー、ベネファクター、MPHF、ポールハリスソサイティ、米山功労者メジャードナー

3) 人柄

情熱を内に秘めた熱血漢とロータリーの友では紹介されています。見たとおりの穏やかな笑顔が印象的な温和な方でガバナー補佐を優しく指導して下さいます。

昨年 10 月横浜旭ロータリークラブの理事会で私がガバナー補佐の候補に決まったのですが、その日のクラブの例会に千田今年度地区幹事と御一緒におみえになり、私としてはそのご配慮に恐縮すると共にガバナー補佐としてのやる気を改めて起こさせてくれたのであります。

今年度は通常のガバナーとしての役務のそ

かに、懸案となっている地区の組織改革や財政改革という問題があり、現在積極的に取り組まれており、クラブ研修、協議会や委員長会議の運営等、皆様をご存知のとおり、リーダーシップを発揮され、邁進されております。

趣味はドライブで、大の甘党で仕事上がりの 1 杯はチョコレートパフェとのことです。

■地区の現状とこれから

地区ガバナー 金子 大様




皆さんこんにちは、増田ガバナー補佐そして新川さん、そしてインターアクトでは宋さん等、このクラブから多くのパワーをいただいております。ありがとうございます。

ご紹介いただきましたように、多分皆さんよりロータリー歴も浅いところもあり、教えていただければいけない処が沢山あると思います。何故かと申しますと地区に出たのは多くはありません。2 年前、高良ガバナーの年度にガバナー補佐のご指名をいただき、それからそのままになってしまい、ガバナー補佐の時にガバナーノミニーのご指名をいただき、ぶっ通しでここまで来てしまいました。ですから短期間でガバナーをさせていただきこととなり、大変戸惑っております。皆さんのお力添えがないと成しえる仕事も出来ませんし、ガバナーの職も勤まらないと思っておりますので、よろしくご指導お願ひします。


本日は、主に地区の現状についてお話しをさせていただきたいと思ひます。今期の RI 会長はバリー・ラシンさんで、バハマにあるイーストナッソーロータリークラブの出身です。37 年間病院の経営をなさっていて、退任し今は病院の顧問をなさっています。

実は当初 RI 会長エレクトは別の人(アフリカのウガンダのサンオーリー氏)に決まっておりましたが、体調を崩され手術の結果お亡くなりになり、急遽ラシンさんが会長にされたそうです。そして、1 月サンディエゴの

Rotary 

2018-2019年度 ロータリーの目標

1. クラブのサポートと強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加
3. 公共イメージと認知度の向上

Rotary 

地区方針

1. 魅力あるRC創りに向けて変革に取り組みましょう
2. 研修の拡充と各会合や事業へ積極的に参加しましょう
3. 会員増強とクラブ拡大に努めましょう
4. 公共イメージと認知度の向上を図りましょう
5. ロータリー財団に対するご理解とご寄付のお願い
6. ロータリー-米山記念奨学事業へのご理解とご寄付のお願い
7. ロータリークラブ対象のロータリー賞に挑戦しましょう

国際大会で、「インスピレーションになろう」というテーマを発表されました。そして私共に何か大きなものに挑戦しようというインスピレーションを、クラブや他のロータリアンに与えてください。自分よりの長く後世に生き続けるものを生み出す為に、行動を起こす意欲を引き出していただきたいのですという声明発表をいただきました。それを受け、私達の地区方針として、それぞれが輝くロータリー、自らの行動でクラブの可能性を上げようというテーマを掲げさせていただきました。地区方針として7項目を掲げさせていただきましたが、それについては月信の7月号をお読みいただき、続いて会長方針も関連性があります。この方針に則って地区を運営していくのですが、皆様ご存じの通り2年前に規定審議会の変更がございました。こちらのクラブは規定審議会の変更に伴い細則も変更されておりますし、いろいろな事がきっと定められ活動されていますので、その事に関しては申し上げることはございません。地区としては皆様に様々なご負担を掛けていると思っております。

2590地区は会員数が2,019名です。20年前は約3,500名おりました。その間1,400名、会員が減っていることとなります。そして、大変憂慮する事は、6月年度の終りに大変大勢の会員が退会されることが昨今の状況です。

今年度の5月、6月頃には約2,070～80名の会員が居りました。それが7月に入って会費が収まって人数が確定する8月になり、そこで2,019名という数字になりました。そして6月末で、一つクラブが無くなりました。

その中で、国際組織のロータリークラブとして、奉仕活動や平和の活動を続けていくことを考えていかなければいけない。維持していく為には、第1番に会員増強を考えて行かなければなりません。今年も、会員増強が1番の目標に掲げておりましたが、もっと大切なこと、叱られるかも知れませんが、一番大切なことは、ロータリーは何のためにあるのだろう、我々はロータリーに何を求めているのだろう、そしてロータリー活動が皆さんの友情と親睦を大切に、そしてロータリー活動、自分のお仕事も、自分の生活の中にも輝きが出てこなくては、正しいロータリー活動にはならないのではないのでしょうか。

大切にしないてはいけないのは、ポールハリスがロータリーを創り、その精神を大切に守らなくてはいけないものの一つです。それから一人一人の皆さんが、健康で幸せでなくてはならないと思っております。

その為に2,019名の会員、57あったクラブが56になり、そこで今まで通り、先ほど申しましたが、千何百人も減ったにも関わらず、まるっきり同じ組織、同じ運営でやっていたのでは、皆さんのご負担が大きくなるのは当たり前だと思います。それが当たり前ではないと思っております。その為に簡素化できるところは簡素化し、スリム化できるところはスリム化しようということで、2年前規定審議会の変更があった後に、その当時の高良ガバナーが戦略委員会を作り、今現在、米山にしても財団にしても、この地区はトップを走ってきております。だからと云っていいという訳ではない。皆さんに掛ける負担を出来る限り軽く、そして、多くの人にロータリアンになっていただき、活動していただけるような道を戦略委員会の中で2年間検討して参りました。そして、今年は行動する年になりました。

その為に、私の年度から地区協議研修会で、いままであった奉仕部門、基盤管理部門を含めた委員会を統合合併させていただきました。12部門あった部門を8部門にまとめ、研修会とさせていただきます。何故そうしたかと

申しますと、この地区では1クラブ平均しますと35～6人になると思います。その内10数名というクラブが8クラブあります。それから20名台が18クラブです。30名台のクラブが以前の研修会の形ですと、17～20名出席しなくてはならない。クラブの半数以上の人が研修会に出なくてはならない。そしてその後にあるソシアでの委員会にも出なくてはならない。このことは、金銭的にも×1万円という費用が皆さんから拠出していただいていることになります。これを少しでも軽くすることを考えていかなくてはならないということで、委員会を縮小させていただき、今年度はもう始まっていますので、全部を取り去ることは出来ませんが、大きいクラブでは全部委員会も事業が決定しておりますので、強制ではありませんが、部門の変更をさせていただきました。

財政やいろいろな面で、地区としましてもクラブとしましても少しは負担の軽減になったのではないかと考えております。皆さん事業の経営者でいらっしゃると思いますのでお分かりと思いますが、我々ロータリアンもロータリークラブもそうですが、事業を小さくするという考えで組織を小さくすることは、好まれることではありませぬ。

ロータリーもCLPをとおして事業を縮小することがないようにと書いてあります。30名台のクラブも大きいクラブも、それぞれのクラブが、これから新しい時代、新しい世代に向かって、日本の人口減少もそうですし、企業の置かれている立場もあるわけです。その中で、次世代に事業を受け継いでいくかということを考えなければいけないと考えております。その為に基盤管理部門と云いまして、ロータリーが今まで守っていた精神、超我的奉仕、職業奉仕の精神を守って、その上で新しいものにどう挑戦出来るか、それによってクラブの活性化と多様化をどういう風に図っていくかということで考えて行きたいと思っております。

基盤管理部門と申しますのは、クラブ奉仕委員会を統合させていただいて、第1回の基盤管理委員会を開かさせていただきました。第1回目は戦略委員会と研修委員会を中心に開かさせていただきました。これも、出席された皆さんには、少し物足りなかったり、これで大丈夫なのかという不安も抱かせたかも

知れません。何故かと申しますと、今現在は、各クラブ奉仕委員会も地区の各委員会は、もう年度が始まっています。前年度から、皆さんご存知のようにロータリーは単年度制ですので、前年度には次年度の委員長さんや方針がみな決まっているんです。それを要する、全部を要するという事は出来ません。今ある事業を守りながら、それを今年度どう実行しているか伝えながら、新しいことに挑戦している。その目先と申しますか、方向性を感じてもらえるかが大切であると思って第1回目をスタートさせていただきました。

現在、皆さんの事業の進行状況や事例発表を多くとり、その中で次年度に参考になるような事例をガバナー補佐の皆さんに協力をいただき選考し発表させていただきました。これからは次年度に向かって、クラブ奉仕と広報・公共イメージ向上委員会と雑誌委員会を一緒にして、基盤管理委員会パート2として8月開催したいと思っております。

その次には職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の奉仕部門として1本に絞らせていただきたいと思いますと思っております。そして、それを今年度中に方向性が定められるようにしたいと思います。今スタートさせていただいた体験やご意見をどう集約するか、ガバナー補佐や地区副幹事の皆さんのお力を借り、また会長幹事会を通し、ガバナー補佐に集約していただき、新しい方向性がお示し出来ればと考えております。その為に今年度のガバナーのスタッフは今までと違った方法で選任しました。

ガバナー補佐は従来通り力強いお力添えをしていただいておりますが、昨年までは副幹事が12名でしたが、私の年度は16名の副幹事で動いています。これは、地区平均の1クラブの会員数は30数名です。30数名ガバナーが出せて、地区が運営出来る仕組みを考えて行かなければいけないだろうと思っております。その為に、私のクラブだけではなくて、翌年の轟ガバナーのクラブからも3名、また別のクラブからも3名副幹事をお願いしております。出来るだけ多くのクラブから出させていただいて、いろいろな情報を共有・経験をしていただき、それぞれのクラブに持って帰っていただければと思っております、それが第1点。

それから皆さんと話し合いをし、こういう方向性でやっていくというお約束をしても単

年度制ですから、翌年違うガバナーがきて違う方針を立てる、それで方向性が変わるということをこれまでガバナーがご苦労なさっていましたが、その方向性を皆さんが見失う、皆さんが理解できるようにしていなければならないということで、現在、ガバナーエレクト・ノミニーとも懇談をもって、そのスタッフも出していただいて、出来るだけ安心して、方向がぶれないように引き渡しができるよう、次年度・次々年度のご理解をいただきながら進めているところです。

また、これまで個々のクラブの考え方を重要にして、クラブは地区の下部組織ではないということで、多くの皆さんから地区は結論を出さない、答えを出さない、という事を数多く言われております。

実は、我々は答えを出すなど研修を受けております。答えを出してはいけない、答えは其々のクラブで、其々の地域にあった、地域に根ざしたクラブが答えを出していくべきで、そのサポート役として地区が様々な情報を皆さんに出来るだけ正確に伝えていく。その情報を元に、出来るだけクラブが答えを見出すという方法で、RLI という研究会を毎月1回行っております。そこでも答えは出さない、皆さんに様々な情報を伝えるという事になっております。

しかし、私はその方法を一部破った形になっております。何故かと申しますと、委員会を統合している訳ですから、方向性を地区が示してしまうことになっていきます。そこはお許しをいただきたいのです。地区がどういう方向性を持っているか、どういう意志を持っているかが伝わらないと、クラブの皆さんは、クラブの方向性や委員会をどうもっていくか定まらないのではないかと思います。

CLPは簡素化や縮小するためにあるのではない、変化と多様性のためにやる。それを定める、方向性を示す為にやるのがCLP。地区のリーダーシップの表明の仕方と思いますが、そこをきちっと示させていただいて、いかに地域に根づいたクラブを作っていけばいいのか、是非考えていただきたいと思っております。

これは変えなくてはならないと云ってるのではなくて、これからの世代を担っていく、組織を作っていくなかで、目的を持ち、2年計画、3年計画、いろいろあると思っております、もうじき50周年を迎える貴クラブも、50周

年に向けてと機会かも知れませんが、これから旭クラブが百年と続くように願って皆さんでお考えいただければと思います。

最後になりますが、月信でも発表しておりますが、ここで地区のビジョンをご案内します。

「多様性を重んじた魅力ある独自のクラブ創り」です。そして2018-19年度のロータリーの「目標」とありますが、これはロータリーの「四つのテスト」とか、「ロータリーの綱領」がありました。今は「目的」となっております。今回ここで「目標」と出てきたのは、昨年まではロータリー会長賞というのがありました。今年はそれがロータリー賞と変わりました。そのロータリー賞はロータリー特別賞としてロータリークラブ賞・ローターアクト賞・インターアクト賞の3つになりました。是非ロータリークラブ賞にチャレンジしていただければと思います。

その時の目標の重要な3つのポイントは、クラブのサポートと強化、そして人道的奉仕と重点化と増加、公共イメージと認知度の向上、それ以外にも重点項目が幾つかあります。

最後になりますが、先ほど皆さんのご協力をいただいた募金について、皆さんには目的や、細かい行先、方向性を示さずに募金を集めさせていただいたことを、お詫び申し上げます。

我々の仲間の地域が被災にあって大きく工場、ライフラインが被害に遭い、回復したところもあります。現在ガバナーやロータリーのネットワークを通して、その地域の規模だとか大きさなどを特定させていただいています。そして出来ればその地域に行きわたるように考えていきたい、と要望がありました。皆さんにこういう地域に、こう分配しましたという報告をさせていただきたいと思っております。その為に順序が逆で募金が先になったことをお許しいただきたいと思っております。

これからも一生懸命考え耳を傾けていきたいと考えております。

どうぞご理解とご協力またご意見ご希望をお寄せいただければと大変ありがたく思っております。

■次週の卓話

8/29 夜間移動例会 点鐘午後6時

場所 仕立屋

週報担当 内田 敏